

令和7年2月10日  
(2025年)

保護者の皆様

吹田市立千里丘北小学校  
校長 小林 大介

## 「千里丘北小学校についての学校アンケート」の結果報告について

立春の侯、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、昨年12月に行いました学校教育自己診断(「千里丘北小学校についての学校アンケート」)では、ご回答に協力いただきありがとうございました。アンケートの集計及び結果の分析について、以下の通り、ご報告させていただきます。なお、アンケートの結果については教職員で共有し、今後の学校教育に活かしていきたいと存じます。

### 1、評価の方法について

保護者の皆様を対象に実施したアンケートは、①～⑫までの設問を『学校の教育活動に関するもの』⑬～⑱を『学校経営に関するもの』と分類しております。

アンケートを分析するにあたり保護者向けのアンケートにつきましては「そう思う」「どちらかという」と「そう思う」という回答を肯定的な評価として判断し、肯定的な評価が80%を超えるものを「概ね満足していただいている」と判断しております。

また、児童向けのアンケートでは低・中・高学年用に分けて実施いたしました。なお、保護者向けと同様に肯定的な評価が80%を超えるものを「概ね満足していただいている」と判断しております。

保護者・児童の両アンケートにおいて80%未満のものにつきましては、特に今後の学校教育活動の中で工夫・改善点として判断しております。

### 2、アンケートの結果と考察

【保護者アンケート】 回答数390通

#### ○結果

全体の概要として、概ね満足していただいている数値が昨年度より上がっていました。アンケート全19項目のうち、16項目について概ね満足していただいているという回答をいただきました。

『学校の教育活動に関するもの』からは「1.子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」「2.学校は、学校だより等で教育方針や教育内容をわかりやすく伝えている」「6.学校は保護者の相談(懇談など)に応じている」「7.学校行事は、子どもが楽しく意欲的に活動できるよう工夫されている」「11.先生は、子どもの努力したことを認めてくれる」の項目で、肯定的回答の割合が昨年度より大きく上回りました。その中でも特に「6.学校は保護者の相談(懇談など)に応じている」の項目で、「そう思う」の回答が60%で昨年度を8%上回り、肯定的回答の割合が96%となりました。「11.先生は、子どもの努力したことを認めてくれる」の項目で、「そう思う」の回答が52%で昨年度を7%上回り、肯定的な回答が95%となりました。

その他の項目については、昨年度と同等の結果が得られました。

『学校経営に関するもの』からは、「14.地震や台風などの場合の登下校の対応について、児童や保護者に知らされている」「16.学校では、授業参観を通して、子どもの様子がわかるような機会を設けている」「18.学校は、徴収金の徴収方法やその会計報告をわかりやすく伝えている」の項目で、肯定的回答の割

合が大きく上回りました。その中でも特に「16.学校では、授業参観を通して、子どもの様子がわかるような機会を設けている」の項目で、「そう思う」の回答が69%で昨年度を13%上回り、肯定的な回答が99%となりました。「19.保護者ボランティア組織の活動に参加したことがある」の項目では、肯定的な回答が42%と、昨年度より19%下回りました。

## ○考察

今年度からコロナ前の学校生活にほぼ近い形で学習や行事を進められていることが、たくさんの項目で肯定的回答の割合が昨年度より大きく上回ったことにつながっていると思われます。学校行事では、オープンスクールを実施したこと、授業では、ペアやグループ学習をする中で自分の意見を伝えたり聞いたりし、友だちとの交流を活発に行うことが一因として考えられます。

特に「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」「学校行事は、子どもが楽しく意欲的に活動できるよう工夫されている」「先生は、子どもの努力したことを認めてくれる」と思っていただけしていることは、大変喜ばしいことで、今後も子どもたちがより一層、学校で楽しく過ごせるよう努めてまいります。

## ◇自由記述欄でのご意見について

自由記述欄にいただきましたご意見について、お答えします。ご意見のすべてにはお答えできませんが、ご了承ください（○はいただいたご意見、●はそれに対する回答です）

① 運動会を全児童で行って欲しいです

● 「運動会を全校で」というのは私たち教職員の願いでもありますが、本校は運動場が大変狭いため、現状、全学年児童に保護者が入って実施することは不可能です。また、「中学校をお借りして」というご意見もいただいておりますが、運動会実施に当たっては何度も練習が必要で、中学校も体育の授業があり、そのたびに中学校の運動場をお借りするのは難しい状況です。加えて、以前に中学校お借りしたときは放送が十分に聞こえないとか、現地集合とした時に狭い道を児童・保護者が通らなければならず、安全上の懸念や時間もかかるという問題がありました。本校だけではなく大規模校ではこのような形式をとっている学校も多く、やむを得ない措置であることをご理解ください。

② 保護者の掃除のボランティアに行った際に思ったのですが一年生のトイレが男女共にすごく汚れていたのが一年生だけでトイレ掃除を綺麗にするのは難しいのかなと思いました。先生が確認するか上級生と毎回ペアにするなどした方がいいのかなと思いました。

● 清掃ボランティアにご参加いただきありがとうございます。トイレの使い方や清掃の仕方については各クラスでも指導をし、出前授業を開いてプロの方からの指導もいただいておりますが、ご指摘のように不十分な点もあったかと思えます。今年度は2学期より高学年と低学年がペアとなって清掃する「ペア清掃」をスタートし、協力して掃除をする中で自然と掃除の仕方について学ぶということを目指しています。引き続きトイレの使い方や清掃の仕方については指導していくとともに清掃用具やその使い方についても検討してきます。

③ 音楽発表会を見る保護者の出入りが目立ったので、前から一年生～と学年順に座らせて、学年が終わったらどんだんはけて行く。きょうだいがいる人は残るなど少し工夫が必要なのではと思いました。また、音楽会でビデオ撮影ができない事が残念です

● 保護者の方の混雑は避けたいものですが、ご自分のお子様の演奏だけではなく、他の学年の児童の演奏も聴いていただきたいということから「お子様の演奏を聴き終わったら順次退出する」という形はとっておりません。児童たちが一生懸命に演奏する姿は、ファインダー越しではなく、実際に見て、聴いていただきたいということや、ご家庭によってはお子さんの映った動画や画像のアップロードを認めておられないこともあり、自由に撮影ができてしまいますと、その動画がどのような使われ方をしてしまうかがわからなくなるため、撮影をご遠慮いただいています。

- ④ ミリカ敷地内での危険行為の指導をしてほしい。放課後に遊ぶ場所がないので可哀想ではあるのですが、ミリカの敷地内でボール投げ(ペットボトルや石などをボール代わりに遊んでるケースもあり)や、バッドを振り回している男子生徒もいます。小さい子も多くいるので非常に危険です。
- ④ 放課後の生活における危険な行為については、学校全体や学級でも指導しています。ただ、放課後の生活はご家庭や地域での指導の範囲内にあることであり、すべてを学校で指導することはできません。見かけたら直接注意いただいたり、管理組合等で話し合っただけならと思います。
- ⑤ 放課後の運動場の開放を検討していただきたいです。他の近隣の小学校に比べても太陽の広場の開催が極端に少ないです。こどもたちがのびのび遊ぶ機会を与えてほしいです。
- ⑤ 太陽の広場は今までは月に一回の実施でしたが、天候等により実施できない回は後日に補填実施しています。しかし、それも見守りをしてくださるフレンドさんあってのことですので、より多くの方がフレンドさんとしてご参加いただけると、実施回数を増やすことができます。ご協力をお願いします。
- ⑥ 先生方自身が言葉遣いに気をつけてほしいです。
- ⑥ 「感情をぶつけること」と「指導する」ことは全く違うものです。児童自身が納得し、自らの気づきにつながるような適切な指導をしていくように努めていきます。

ありがとうございます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せんきたルームの存在に親子共に助けられています。学校に行くのが辛くなっていた息子がまた通えるようになり、学校の柔軟な対応に本当に感謝しております。</li> <li>・いつも先生がクラス便りでクラスの様子を教えてくださいるので、子供の話だけではわからない事や雰囲気わかり大変感謝しています。子供も学校が大好きなようです。</li> <li>・先生方皆さんのお力で子供たちが、健やかに安全に学校生活を過ごしていると感謝しております。</li> <li>・姉弟ともに楽しく登校させていただいております。これからも、よろしく願いいたします。</li> <li>・先生の皆様、本当に日々大変だと思います。そんな中、子供達への教育や指導、心の底より感謝しております。家で出来ることはしっかりと躡ります。先生方々がストレスをできるだけ抱えないよう出来ることは家でやります。今後とも宜しく願い致します。</li> <li>・息子の友人トラブルの際には先生方に大変ご協力いただき、感謝しております。何度もご対応いただいたおかげで、息子もなんとか登校できております。引き続きよろしくお願い致します。</li> </ul>
------------	---

## 【児童アンケート】

低学年 回答297 (無回答含む)

### ○結果

全体の概要として全15項目のうち、13項目については「概ね満足している」という回答がありました。「がっこうへいくのがたのしい。」「せんせいはわたしたちのいけんをきいてそうだんにのってくれる。」「じゅぎょうは、わかりやすくてたのしい。」「せんせいはがんばったときほめてくれる。」「がっこうでのルールをがくしゅうしている。」「がっこうぎょうじはたのしい。」「がっこうではいのちのたいせつさやひとへのおもいやりをがくしゅうしている。」「がっこうではじけん・じしんやかさいなどがおこったときどうしたらいいかがくしゅうしている。」「がっこうにはよくあそんだりはなしたりするともだちがいる。」「こうちょうせんせいのおはなしはわかりやすい。」「じゅぎょうでアイパッドをつかっている。」「がっこうでおうちのひとやちいきのひとといっしょにがくしゅうをすることがある。」「あゆみはわかりやすい。」といった項目は80%以上が肯定的回答でした。

「じゅぎょうでよくてをあげる。」「じゅぎょうでわからないことをせんせいにきける。」の項目では肯定的回答が80%を下回る結果となりました。

## ○考察

「うんどうかいやえんそくなどのがっこうぎょうじはたのしい。」の項目では90%以上の肯定的回答がありました。今年度は10周年記念遠足や式典など、貴重な学校行事がたくさんありました。学級・学年の垣根を越えて、学校全体で思い出を作れたことが、今回の結果につながったのだと考えます。今後も座学の授業だけでは学べないことを、様々な体験活動等を通して深めていけるように学校全体で取り組んでいきます。

その他には、「せんせいはわたしたちのいけんをきいてそうだんにのってくれる。」では、昨年と同等の肯定的な高い結果が得られました。一方で、「じゅぎょうでわからないことをせんせいにきける。」では、肯定的回答が80%を下回る結果になりました。この2項目については、学習環境に関わってくる項目でもあると考えます。一人ひとりの児童の声に寄り添い、担任一人ではなく、職員全体で関わることを共通認識として取り組んでいきます。また、家庭と学校が連携を引き続きとっていき、安心して過ごせる学校にしていきます。

「じゅぎょうでアイパッドをつかっている」の項目については、昨年度も高い肯定的回答でしたが、さらに2ポイント高い結果になりました。低学年でもipadを積極的に活用し、学習の良き文房具になりつつあります。今後も情報モラル教育とともにデジタル活用の資質能力の向上に努めていきます。

### 中学年回答347（無回答含む）

## ○結果

全体の概要として全15項目のうち、13項目については「概ね満足している」という回答がありました。昨年度よりポイントが増加しているのは、「先生は、私たちの話や意見を聞いて相談にのってくれる。」「先生は、自分が努力したことを認めてくれる。」「学校や社会のルールについて学習している。」「学校行事は楽しい。」「学校では、命の大切さや、人への思いやりを学習している。」「学校では、事件・地震や火災などが起こったときに、どうしたらいいか学習している。」でした。回答値が90%を超える項目もあり、昨年度から大きくポイントをあげているのは、「学校や社会のルールについて学習している。」でした。「学校でお家の人や地域の人と一緒に学習することがある。」「あゆみは、わかりやすい。」の項目は、昨年度より肯定的回答が下回る結果となりました。

## ○考察

昨年度から大きくポイントをあげた「授業でアイパッドを使っている。」は、今年度も高い回答を得ることができました。児童一人ひとりがiPadの活用方法を理解し、「学習をより楽しく学べる文房具」として定着してきています。そうしたiPadの活用が「授業は、分かりやすくて楽しい。」の高い肯定回答ポイントにもつながったとも考えます。今後も、こうした取り組みは継続していきたいと思えます。

また、「学校や社会のルールについて学習している。」は、昨年度より7ポイント高い回答結果が出ました。児童一人ひとりが、きまりを意識して生活していることがわかります。引き続き、学校全体で意識をもって取り組んでいきます。

「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある。」や「学校でお家の人や地域の人と一緒に学習することがある。」の項目については80%を下回る回答となっていますので、児童が主体となる授業の展開や疑問点などを気軽に聞けるような雰囲気づくりなど、授業づくり・学級づくりに努めていきます。

○結果

全体の概要として全 15 項目のうち、13 項目については「概ね満足している」という回答がありました。90%以上の肯定的回答の項目は、「先生は、私たちの話や意見を聞いて、相談に乗ってくれる。」「授業は、わかりやすく楽しい。」「授業で分からないことについて、先生や友達に聞ける。」「学校や社会のルールについて勉強している。」「学校行事は楽しい。」「学校では、命の大切さや、人への思いやりを学習している。」「学校では、事件・地震や火災などがおこったとき、どうしたらいいか学習している。」「学校には、遊んだり話したりする友だちがいる。」「授業でアイパッドを使っている。」「あゆみは、わかりやすい。」でした。

「学校行事は楽しい。」「学校では、命の大切さや、人への思いやりを学習している。」の2項目は昨年度より肯定的な回答が高くなっていました。一方、「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある。」「あゆみは、わかりやすい。」の2項目は昨年度より、肯定的な回答が低い結果となりました。

○考察

「授業でアイパッドを使っている。」の肯定的回答は、95%を超える結果となりました。そのうち、約80%が「満足している」と回答しています。日頃からipadを使って学習をよりわかりやすく、楽しく使うことができ、発表形式の授業では、ミライシードのオクリンクやkeynoteを使うことで、児童の学習意欲を高めることにつながっています。

また、「学校では、命の大切さや、人への思いやりを学習している。」は昨年度より肯定的回答を上回っています。毎年取り組んでいる「トリプルチェンジ」の学習や普段のクラスの関わりの中で、児童が大きく成長していることが今回の結果につながったと考えます。

一方、授業に関する設問では、「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある。」の項目が肯定的回答が80%を下回る結果となりました。この結果を受けて、ペアやグループでの交流の中で、自分の考えを伝えられるような時間や一人一人の発表する時間を大切に、授業を進めていきたいと思えます。

この学校アンケートは、児童（低・中・高別）・保護者・教職員からのアンケート結果から、学校としての課題を整理し、結果を考察し、今後の教育活動・学校運営に活かすためのものです。

回答していただいた皆様の声を大事にしながら、「子どもたちのために」教育活動を展開してまいります。

また、学校の状況や教育に関する情報は、学校・学年日より、学校ホームページ・ブログなどを利用しながら、日々の子どもの様子や学校の取組について、お伝えしていきます。今後とも、保護者の皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。